

令和4年度  
第2回みと好文カレッジ運営審議会

日 時 令和5年3月2日(木)  
午前10時00分～  
場 所 水戸市総合教育研究所  
2階 研究室5・6

みと好文カレッジ

## 【次 第】

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 議 題

- (1) 令和4年度みと好文カレッジ事業実施報告について
- (2) 令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について
- (3) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画（案）について
- (4) その他

### 4 閉会

(1) 令和4年度みと好文カレッジ事業実施報告について

1 市民センターへの支援・指導

(1) 東湖塾の開催

ア 新任職員研修

(ア) 集合研修

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
4月13日(水)	市民センターについて、生涯学習の推進についてほか	市民生活課職員、みと好文カレッジ職員ほか	新任所長及び新任会計年度任用職員 11人	新任所長及び新任会計年度任用職員 9人

(イ) 訪問研修

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
前期6～7月 後期9月～1月	市民センターにおける生涯学習事業の推進方策等について	みと好文カレッジ職員	新任所長及び新任会計年度任用職員 前期10回 10人 後期10回 10人	新任所長及び新任会計年度任用職員 前期6回 6人 後期3回 4人

イ 全体研修

(ア) 集合研修

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
7月27日(水)	人が集まる講座とチラシの作り方について  ※講師がZoomによりリモートで講義を行うオンライン研修	NPO法人 男女共同参画おおた理事長 坂田 静香	市民センター会計年度任用職員 25人	市民センター会計年度任用職員 27人
①11月14日(月) ②11月21日(月)	ファシリテーション入門 ①講義 ②実演	NPO法人 セカンドリーグ茨城理事長 横須賀 聡子	市民センター所長 ①30人 ②16人	現代的課題について・水戸生涯学習センターの事業について  市民センター所長 31人
令和5年 ①1月23日(月) ②2月16日(木)	普通救命講習 I	一般社団法人水戸地区救急普及協会	市民センター所長又は会計年度任用職員 ①14人 ②18人	—

(イ) ブロック研修（意見交流会）

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
8月9日（火）	（北部ブロック） 定期講座の充実や募集方法について，移動学習の企画・立案方法や引率における安全確保について	みと好文カレッジ 職員	北部ブロック 会計年度任用 職員 5人	西部ブロック 会計年度任用 職員 7人
8月26日（金）	（常澄ブロック） 定期講座の充実や募集方法について，移動学習の企画・立案方法や引率における安全確保について		常澄ブロック 会計年度任用 職員 4人	中央ブロック 会計年度任用 職員 5人

(ウ) 訪問研修

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
前期6月 後期9月～12月	市民センターにおける生涯学習事業の推進方策等について	みと好文カレッジ 職員	所長及び社会 教育事業担当 者 前期1回 1人 後期25回 31人	所長及び社会 教育事業担当 者 前期29回 36人 後期31回 38人

ウ 学習プログラム作成研修（ブロック研修）

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①6月14日（火） ②7月4日（月） ③8月2日（火） ④8月29日（月）	（東部ブロック） 現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得する	みと好文カレッジ 職員	東部ブロック 会計年度任用 職員 6人	内原ブロック 会計年度任用 職員 3人

(2) 好文塾の開催

ア ブロック単位

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①11月10日(木) ②11月17日(木) ③12月5日(月)	(東部ブロック) 睡眠・運動・食、健康の 三原則から百年笑うため の基礎を学び、よりよい 生きがいを見つける  「人生100年時代 健康を 考える」 ①睡眠と健康の知恵袋 ②レインボー健康体操 ③食のとっても大切なお 話	①明治安田生命 FP コンサルタン ト 佐藤 滋郎 ②健康運動指導士 磯崎 幹子 ③クッキングスク ールネモト 根本 悦子	東部地区在住 の方  定員 30人 応募者 28人 参加者 ①22人 ②20人 ③21人	(内原ブロッ ク「地域で育 つ子どもたち へ」) 市内在住又は 通勤・通学す る方(①は1 ～3歳くらい の乳幼児と保 護者)  定員 各回20人 (①は20組 40人) 応募者 ①17組37人 ②8人 ③10人 ④17人 参加者 ①16組35人 ②6人 ③8人 ④15人

イ 単独

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
12月27日(火)	(見和市民センター) プログラミングの入門用 アプリ「Scratch」を用い て、プログラミングを体 験する  「親子プログラミング体 験講座」	合同会社 クリエ イトキッズ代表 小平 文和	見和地区の小 学4～6年生 とその保護者  定員 10組20人 応募者 10組20人 参加者 8組16人	(吉田市民 センター「今 からはじめ る これか らのこと」) 吉田地区住人  定員 24人 応募者 15人 参加者 ①14人 ②10人

## 2 全市的な生涯学習の推進

### (1) みと弘道館大学の開催

#### ア 茨城しぐさ

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
12月1日(木)	「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考える	NPO法人 ひと・まちなつとわ 一く 宮澤 直美	下大野小学校(授業参観) 4年生 11人 保護者 11人	申込みなし

#### イ みと好文親子エコ教室～自然と環境について楽しく学ぼう～

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
令和5年 2月4日(土)	自然と環境についての講話を聞き、ペットボトルを使ったランタン作りや、SDGs 缶バッジ作りを行う	茨城県地球温暖化防止活動推進センター 副センター長 川島 省二	市内在住又は通学する小学4～6年生とその保護者  定員 15組 30人 応募者 9組 18人 参加者 8組 16人	—

#### ウ みと好文親子プログラミング教室

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
令和5年 3月28日(火)  [予定]	プログラミングの入門用アプリ「ScratchJr」で簡単なゲームを作成しながら、プログラミングの基礎を学習する	プログラミング講師 小沼 希	市内在住又は通学する小学1～3年生とその保護者  定員 13組 26人	—

#### エ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

現在の登録者数は、人材育成講座「さきがけ塾」第1期修了生から第6期修了生まで合計57人。なお、第7期修了予定の13人が、令和5年4月に生涯学習サポーターに登録予定。

【生涯学習サポーター協働企画講座】

(ア) 旅日記にみる江戸時代の女子旅

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①10月16日(日) ②10月23日(日)	江戸時代の女性たちの旅から歴史の背景に触れ、たくましい女性たちの姿と根底にある好奇心・研究心・職務に対する責任感などを学び、現代を考える  ①江戸時代の女子旅から現代を考える ②旅する主体としての女性	茨城県立歴史館首席研究員 長谷川 良子	市内在住又は通勤・通学する方  定員 30人 応募者 34人 参加者 ①28人 ②26人	—

(イ) 百歳への道 - 幸齢期の生き方 -

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①11月16日(水) ②12月1日(木) 令和5年 ③1月20日(金)	心・からだの健康、そして平和な社会を考える  ①平和の大切さを学ぶ ②「シルバーリハビリ体操」考案者に学ぶ ③幸齢期、充実感のある日々を送るために	①ひたち生き生き百年塾市民教授 皆川 直司 ②茨城県立健康プラザ管理者 医学博士 大田 仁史 ③水戸まちづくりの会 会長 藤田 絹代	市内在住又は通勤・通学する方  定員 30人 応募者 28人 参加者 ①17人 ②19人 ③10人	—

(ウ) ずっと健康でいるために

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①11月8日(火) ②11月15日(火) ③11月29日(火)	日々の生活で健康づくりの意識を高め、実践する  ①人間の記憶の秘密 ②今日もできる漢方で実践 ③心と身体をととのえて	①茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 ②五藤薬局 薬剤師 上田 洋一 ③ネパール市場 MAYA 店主 シンギングボウルヒーラー&セラピスト シュレスタ・ルペス	市内在住又は通勤・通学する方  定員 20人 応募者 48人 参加者 ①18人 ②17人 ③16人	—

(エ) 親子でワクワク

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①10月16日(日) ②11月13日(日) ③11月20日(日)	3つの触れ合い活動を通して、わくわく、のんびり、楽しい時間を過ごし、親子の絆を深める  ①ネイチャーゲームを楽しもう ②のんびり楽しい絵本の時間 ③工作を楽しもう	①元茨城女子短期大学 准教授 坂本 勝江 ②NPO法人 虹のポケット 理事長 後藤 悟子 ③元学校教員 飛田 隆久	市内在住又は通学する小学1～4年生とその保護者  定員 15組 30人 応募者 14組 29人 参加者 ①11組 23人 ②9組 19人 ③13組 27人	—

(オ) 次世代に伝えたい あの日のこと

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
7月21日(木)	①戦争の紙芝居「茂木貞夫物語」の鑑賞 ②被爆体験者の講話  ※見和市民センターとの協働企画講座	①次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ ②被爆体験者 茂木 貞夫	市内在住又は通勤・通学する方(小学3年生以上)  定員 35人 応募者 29人 参加者 26人	市内在住又は通勤・通学する方  定員 55人 応募者 61人 参加者 55人  ※内原市民センターとの協働企画講座

(カ) 忘れないでほしい 郷土の歴史

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
12月4日(日)	①講話「満蒙開拓幹部訓練所の水戸市地域文化財認定へ思うこと」 ②講話「満蒙開拓と”義勇軍物語”」 ③紙芝居「義勇軍物語」 成田富雄 作  ※内原市民センター・内原郷土史義勇軍資料館との協働企画講座	①鯉淵学園農業栄養専門学校 副学園長 長谷川 量平 ②内原郷土史義勇軍資料館長 関口 慶久 ③次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ	市内在住又は通勤・通学する方(小学3年生以上)  定員 70人 応募者 74人 参加者 70人	—

## (2) 子育て応援塾の開催

### ア 家庭教育講座

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
11月12日(土)	グループディスカッションやロールプレイングなどの体験学習を通して、親と子がお互いを大切にしながら日々を過ごすための方法を学習する  「ありのままの自分を尊重して親も子もハッピーライフ」	コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子	市内在住又は通勤・通学する方で子育てに関心のある16歳以上の方(子育て中の方優先)  定員 25人 応募者 21人 参加者 14人	中止

### イ 家庭教育出前講座

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
申込みなし	未来の扉をひらく絵本の読み聴かせ	朗読家 見澤 淑恵	—	申込みなし
令和5年 2月25日(土) [予定]	子どもの心のケアに役立つコミュニケーション	コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子	すずらん石川保育園 保護者40人 (予定)	申込みなし
申込みなし	生きる力を育てる子育て10カ条	NPO法人 ひと・まちなつとわーく 事務局次長 綿引 均	—	申込みなし

## (3) 「さきがけ塾」の開催

### 第七期「さきがけ塾」

月日	内容	講師	参加者	第六期
令和4年1月～ 令和5年3月 原則毎月第2・4 水曜日開催	市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、市民目線の講座の企画・実施に参画する人材の育成を図る  理論編 22回, 実習編 4回, 実践編 4回程度	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 ほか	生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民  定員 15人 応募者 14人 参加者 13人	生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民  定員 25人 応募者 18人 参加者 14人 修了者 10人

※今年度の詳細は別紙1参照

(4) 「さきがけ塾」塾生との協働企画講座の開催

ア 介護を知っとく講座

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①12月8日(木) ②12月15日(木) ③12月22日(木)	3つの講座を通して、将来介護を「する・受ける」であろう方が介護の不安を解消するための基礎知識を習得し、介護ストレス解消のための備えを行えるようにする  ①介護の基礎知識を学ぶ ②孤立してはいない!!人のつながりを学ぶ ③介護に係るお金の話	①水戸市介護保険課 ②茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 ③日本FP協会CFP®認定者 社会保険労務士 ウィングFP相談室 代表 辻 章嗣	市内在住又は通勤・通学する方  定員 30人 応募者 38人 参加者 ①28人 ②25人 ③25人	—

イ 水戸の先人に学ぶ

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
令和5年 ①1月28日(土) ①は中止  ②2月25日(土) ③3月4日(土) [予定]	先人たちが築いた歴史を振り返り、歴史の楽しさを学習する一助とする  ①大横綱 常陸山 ②満蒙開拓青少年義勇軍 加藤完治 ③愛郷塾 橘孝三郎	水戸史学会理事 仲田 昭一	市内在住又は通勤・通学する方  定員 40人 応募者 45人	—

(5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修, 新しい技術を活用した講座・研修

ア 市民センター会計年度任用職員研修会

講師がZoomによりリモートで講義を行うオンライン研修を開催した。詳細は「1 市民センターへの支援・指導 (1) 東湖塾の開催 イ 全体研修 (ア) 集合研修」を参照。

イ スマホ体験講座～便利機能とマイナンバー～

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①11月22日(火) ②12月7日(水) ③12月14日(水) ④12月20日(火) 令和5年 ⑤2月7日(火) ⑥2月15日(水)	<p>スマートフォンを使い始めたばかりの方が知っておくと便利な機能や、マイナンバーカード、マイナポータルの活用法を実際に体験しながら学ぶ</p> <p>(会場)</p> <p>第1弾</p> <p>①新莊市民センター ②妻里市民センター ③見和市民センター ④吉田市民センター</p> <p>第2弾</p> <p>⑤双葉台市民センター ⑥下大野市民センター</p>	スマートフォンアドバイザー	<p>市内在住又は通勤する、スマートフォンを使い始めたばかりの方</p> <p>定員 各会場 15人</p> <p>応募者 第1弾 合計 53人</p> <p>第2弾 合計 58人</p> <p>参加者</p> <p>①14人 ②8人 ③13人 ④9人 ⑤14人 ⑥13人</p>	<p>(はじめてのスマホ体験講座)</p> <p>市内在住又は通勤する概ね60歳以上で、スマートフォンを所有していない方やスマートフォン初心者の方</p> <p>定員 各会場 15人</p> <p>応募者 第1弾 合計 81人</p> <p>第2弾 合計 104人</p> <p>参加者</p> <p>①14人 ②15人 ③13人 ④14人 ⑤13人 ⑥13人 ⑦14人</p>

(6) 子育て支援講座の開催

ア パパといっしょに夢らんど

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①6月4日(土) ②6月18日(土) ③7月2日(土)	(パート1) 2歳から3歳未満までの幼児とその父親を対象に、様々な講座を実施することで、子育て中の親同士が出会い、情報交換の場を作り、楽しみながら子育てできるよう支援する  ①親子運動遊び ②親子アート遊び ③親子ヒップホップ	①わかな保育園保育士・こども環境管理士 鯉淵 裕志 ②子どもアート講師 綿引 真宏 ③ヒップホップインストラクター MEGU & JURI	市内在住2歳から3歳未満までの幼児とその父親  定員 15組 30人 応募者 18組 36人 参加者 ①15組 30人 ②13組 26人 ③15組 30人	市内在住2歳から3歳未満までの幼児とその父親  定員 15組 30人 応募者 23組 46人 参加者 ①10組 20人 ②13組 26人 ③13組 26人
①10月25日(火) ②11月8日(火) ③11月22日(火)	(パート2) 2歳から3歳未満までの幼児とその父親を対象に、様々な講座を実施することで、子育て中の親同士が出会い、情報交換の場を作り、楽しみながら子育てできるよう支援する  ①親子アート遊び ②親子運動遊び ③親子ヨガ	①子どもアート講師 綿引 真宏 ②わかな保育園保育士・こども環境管理士 鯉淵 裕志 ③キッズヨガインストラクター 子安 美穂 ベビーマッサージ協会 渡邊 江津子	市内在住2歳から3歳未満までの幼児とその父親  定員 15組 30人 応募者 5組 10人	市内在住2歳から3歳未満までの幼児とその父親  定員 10組 20人 応募者 7組 14人 参加者 ①5組 10人 ②5組 10人 ③6組 12人

イ ほっとひといきママたいむ

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①7月5日(火) ②7月12日(火) ③7月19日(火)	(パート1) 子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマについて学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする  ①おやつクッキング ②仕上げ歯みがき ③どうするいやいや期	①フードインストラクター 軽部 知美 ②歯科衛生士 伊藤 敦子 ③茨城女子短期大学非常勤講師 橋本 祥子	市内在住の乳幼児(就学前)のお子さんをもつ保護者  定員 12人 応募者 49人 参加者 ①12人 ②10人 ③11人	—
①9月21日(水) ②9月28日(水) ③10月5日(水)	(パート2) 子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマについて学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする  ①おやつクッキング ②仕上げ歯みがき ③どうするいやいや期	①フードインストラクター 軽部 知美 ②歯科衛生士 伊藤 敦子 ③茨城女子短期大学非常勤講師 橋本 祥子	市内在住の乳幼児(就学前)のお子さんをもつ保護者  定員 12人 応募者 43人 参加者 ①12人 ②10人 ③11人	—

(7) 「あなたも師・達人制度」の活用促進

	登録者数(人)	派遣依頼件数(件)	派遣件数(件)	派遣人数(人)
令和4年度	297	12	8	10
令和3年度	298	13	5	5

(8) 育児ボランティア「えくぼ会」制度の利用促進

	登録者数(人)	派遣件数(件)	派遣人数(人)	預かった子ども(人)
令和4年度	43	18	113	96
令和3年度	40	2	10	7

### 育児ボランティア研修会の開催

月日	内容	講師	参加者	令和3年度
①4月28日(木) ②5月11日(水)	普通救命講習Ⅲ	一般社団法人 水戸地区救急普及 協会	育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 ①19人 ②13人	中止
令和5年 2月17日(金)	現在の託児の注意事項 について	元公立保育所所長 飛田 かおる	育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 21人	効果的な絵本 の読み聞かせ のポイントと 絵本の選び方  育児ボランテ ィア「えくぼ 会」会員 12人

### (9) 学習情報の提供

- ア みと好文カレッジホームページへの事業等の掲載
- イ みと好文カレッジ情報誌の発行

### (10) 学習相談事業の充実

#### ア 相談者状況(件)

	行政	団体	個人	合計
令和4年度	9	6	32	47
令和3年度	14	6	41	61

#### イ 相談・情報提供状況(件)

	学習機会	施設	指導者	団体・グループ	教材(図書)	その他	合計
令和4年度	26	0	5	3	0	13	47
令和3年度	32	1	16	0	0	12	61

#### ウ 相談方法状況(件)

	電話	面談	F A X	メール	合計
令和4年度	44	2	0	1	47
令和3年度	56	1	0	4	61

### (11) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

#### ア NPO法人 ひと・まちなっとわーくとの連携事業

NPO法人 ひと・まちなっとわーくの講師を活用した出前講座を開催した。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進(1) みと弘道館大学の開催 ア 茨城しぐさ」を参照。

#### イ ソフトバンク株式会社及び株式会社NTTドコモとの連携事業

「スマホ体験講座～便利機能とマイナンバー～」の第2, 3, 5回を、総務省が実施している「デジタル活用支援推進事業」に参画しているソフトバンク株式会社の認定講師を活用して実施、第1, 4, 6回を株式会社NTTドコモの講師を活用して実施した。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進(5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修, 新しい技術を活用した講座・研修 イ スマホ体験講座～便利機能とマイナンバー～」を参照。

## ウ 明治安田生命保険相互会社との連携事業

東部ブロック好文塾「人生 100 年時代 健康を考える」の第 1 回「睡眠と健康の知恵袋」を、「地元の『公民館』元気プロジェクト」を実施している明治安田生命保険相互会社の講師を活用して開催した。詳細は「1 市民センターへの支援・指導 (2) 好文塾の開催 ア ブロック単位」を参照。

また、市民センターへの支援として、同講師を活用した講座の開催を市民センターに提案した。本提案により、吉田市民センター（成人教育）、双葉台市民センター（成人教育）、石川市民センター（高齢者教育）、国田市民センター（家庭教育強化事業）が講座を開催した。

## エ 「課題解決チャレンジ事業」に係る実行委員会「チャレンジ委員会」への委員としての参加

茨城県水戸生涯学習センターが設置する「チャレンジ委員会」に委員として参加した。事業実施の目的は、各地域や市町村の抱える様々な現代的・地域課題の解決に向けて、必要な人材の育成や関係団体との連携・ネットワーク構築等を行い、モデルとなる実践的な活動を行うことにある。

## (12) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

### ア 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

協議会委員 6 人

開催回数	日時
2 回	令和 4 年 8 月 5 日（金）午後 2 時～ 令和 5 年 2 月 20 日（月）午後 2 時～

### イ 水戸市訪問型家庭教育支援員による家庭訪問等の実施

支援員 7 人

	ケース会議（回）	個別訪問世帯数（世帯）	個別訪問回数（回）
令和 4 年度	9	24	41
令和 3 年度	11	14	31

#### 【堀原小学校 1 年生世帯全戸訪問】

保護者にはあらかじめ学校を通し、全戸訪問について文書にて周知を図り、2 人 1 組で訪問した。訪問にあたっては、玄関先にて短時間で行い、児童の家庭での様子等を聞き取り、事業について周知をした。不在であった場合には、個別訪問希望の有無についてのアンケートをポストへ投函し、提出するよう依頼した。さらに、令和 5 年 2 月に全訪問世帯に事後アンケート調査を実施し、効果の検証を行うとともに、再度事業の周知を行っている。

訪問世帯数	47 世帯
面会世帯数	44 世帯
不在世帯数	3 世帯
アンケート（不在世帯用） 回答世帯数	3 世帯

## ウ 広報活動

(ア) 水戸市ホームページ掲載

(イ) 保健所・子育て支援課・子ども政策課・市民課・各出張所にチラシ配布依頼

(ウ) 子育て支援総合ガイドブック掲載

(エ) 幼稚園・保育所等にチラシ配布・ポスター掲示依頼

(オ) 市立小学校等にチラシ配布・ポスター掲示依頼

(カ) 市民センターにチラシ設置・ポスター掲示依頼

(キ) 「広報みと」（5 月 15 日号、11 月 15 日号）に記事掲載

(ク) SNS (公式LINE, Twitter, Facebook) にて情報配信

**エ 対象者の掘り起し**

(ア) 市立幼稚園・認定こども園訪問

(イ) 3歳児健診・就学時健診での事業案内実施

## 別紙1 第七期「さきがけ塾」理論編の内容等

回	開催日	内 容	講 師	参加者
補 講	4月13日(水)	魁のまち, 水戸を目指して	水戸市政策企画課	12人
7		水戸の防災を学ぶ	水戸市防災・危機管理課	
補 講	4月20日(水)	ファシリテーターになろう	NPO法人 セカンドリー グ茨城 理事長 横須賀 聡子	12人
8	4月27日(水)	美しい街, 水戸を目指して	水戸市都市計画課	12人
9	5月11日(水)	水戸の歴史を学ぶ	水戸市教育委員会歴史文化 財課	13人
10	5月25日(水)	学習プログラムづくり実践 の手法	元学校長 比留間 範之	13人
11	6月8日(水)	学習プログラムづくり①		13人
12	6月22日(水)	学習プログラムづくり②	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均, 小平 文和	13人
13	7月13日(水)	学習プログラムづくり③		12人
14	7月27日(水)	学習プログラムづくり④		10人
15	8月3日(水)	チラシづくりに挑戦	水戸市生涯学習サポーター 見澤 淑恵	13人
16	8月24日(水)	学習プログラムづくり⑤	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均, 小平 文和	11人
17	9月14日(水)	受講者側に立って学ぶ 『紫芳の字手紙講習会』	紫芳の字手紙認定講師 寺門 忍	13人

18	9月28日(水)	学習プログラムづくり⑥	元学校長 比留間 範之	12人
19	10月12日(水)	学習プログラムづくり⑦	水戸市生涯学習サポーター 綿引 均, 小平 文和	13人
20	10月26日(水)	アンケートづくりの実践	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和	11人
21	11月2日(水)	ためして合点!プレゼンテーション	元学校長 比留間 範之	12人
22	11月16日(水)	記念講演	弘道館主任研究員 小坪 のり子	13人

※4月13日に第7回と併せて実施した補講は、新型コロナウイルス感染症拡大により、市有施設の夜間利用が中止となったため、2月16日に開催中止となった第4回分。

※4月20日に実施した補講は、上記と同理由により2月2日に開催中止となった第3回分。

## 別紙2 令和4年度みと好文カレッジ実施事業評価

### <東湖塾の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
30 千円 (報償費)	50 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進基本計画 令和5年度訪問研修実施数 目標値 70 件</li> <li>・事業実施目的達成度</li> </ul>	B
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問研修について、前期は新任職員がいる10か所の市民センターに、後期は全34市民センターで実施し、各市民センターの実情に応じたアドバイスをを行った。</li> <li>・新たな集合研修（ファシリテーション入門、普通救命講習）を開催した。</li> <li>・集合研修にオンライン形式を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大期においても実施することができた。</li> </ul>			

### <好文塾の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
242 千円 (報償費, 賃借料等)	39 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施目的達成度</li> <li>・定員に対する応募人数, 参加人数</li> <li>・受講者アンケート結果</li> </ul>	B
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度実施講座 2 講座 (東部ブロック ブロック研修) 睡眠・運動・食、健康の三原則から百年笑うための基礎を学び、よりよい生きがいを見つけることをねらいとして3回シリーズとして実施した。</li> <li>・受講者アンケート結果は、講師の話が勉強になったなど良かったという声が多かった。 (見和市民センター)</li> <li>・小学校では、「プログラミング教育」が必修化され、プログラミング的思考が将来の職業においても重要になってきているため、プログラミングの入門用アプリ「Scratch」を用いてプログラミング体験講座を開催した。</li> <li>・受講者アンケート結果は、とても丁寧な指導で分かりやすかった。楽しく教えていただいたので、また機会があれば参加したいとの声があった。</li> </ul>			

### <みと弘道館大学（茨城しぐさ、親子エコ教室、親子プログラミング教室）の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
166 千円 (報償費等)	19 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的達成度</li> <li>・受講者アンケート</li> <li>・定員に対する応募人数, 参加人数</li> </ul>	B
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城しぐさについて、感染症拡大防止対策により学校行事を控える学校が多く、2年間申し込みがなかったが、前期及び後期の学校長会連絡会での説明、さらには、定期的に開催している校長会でのチラシ配布を実施したことにより、1件の申し込みがあった。</li> <li>・SDGs（環境問題）の講座を開催し、「水戸の自然や生き物についてたくさん知ることができた。」など、高評価であった。また、エコについて親子で学ぶことができた。</li> <li>・小学校では、「プログラミング教育」が必修化され、プログラミング的思考が将来の職業においても重要になってきているため、プログラミングの入門用アプリ「Scratch Jr」を用いてプログラミング体験講座（低学年向け）を春休みに開催予定である。</li> </ul>			

<水戸市生涯学習サポーター活動の推進 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
729 千円 (報償費等)	284 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進基本計画, 2か年実施計画 令和5年度末目標値 生涯学習サポーター80人, 協働企画講座10講座</li> <li>・教育行政方針主要事業及び目標指数 生涯学習サポーター新規登録予定者数 13人</li> <li>・事業目的達成度</li> <li>・定員に対する応募人数, 参加人数</li> <li>・受講者へのアンケート結果</li> </ul>	C
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習サポーター 57人(令和4年度末見込み) 今後, 新規登録予定者数 13人</li> <li>・協働企画講座実施数…6講座</li> <li>・サポーターが子育て, 健康, 歴史, 戦争と様々なジャンルから企画し, 市民目線での講座を市民に提供することができた。</li> <li>・定員程度または定員以上の応募があった。</li> <li>・受講者へのアンケート結果については, いずれも高評価だった。</li> </ul>			

<子育て応援塾の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
417 千円 (報償費等)	47 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的達成度</li> <li>・受講者アンケート</li> <li>・定員に対する応募人数, 参加人数</li> </ul>	B
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね定員程度の応募があった。</li> <li>・受講者へのアンケート結果については, 「今までより少し気持ちが軽くなり, 楽しく子どもに接する事ができそう」など高評価だった。</li> <li>・出前講座については, 2年ぶりに1件の申し込みがあった。</li> </ul>			

<「さきがけ塾」の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
623 千円 (報償費等)	206 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育行政方針主要事業及び目標指数 令和4年度生涯学習サポーター新規登録予定者数 13人</li> <li>・事業目的達成度</li> <li>・受講者アンケート結果</li> </ul>	B
<b>評価・課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により市民センターが使用できなくなったため, 2講座について影響が出たが, 延期して実施することができた。</li> <li>・講座の企画から開催まで, 実際に学習プログラムを実施したことは, 塾生にとって非常に大きな自信となった。</li> <li>・アンケート結果では, 受講者全員が有意義であったと回答している。</li> </ul>			

<「さきがけ塾」塾生との協働企画講座 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
160 千円 (報償費等)	68 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業目的達成度</li> <li>・ 受講者アンケート</li> <li>・ 定員に対する応募人数, 参加人数</li> </ul>	B
<p><b>評価・課題</b></p> <p>歴史グループは6人, 介護グループは7人でプログラム作成を行った。内容決定, 講師依頼, チラシ作成, 当日の準備, 運営と滞ることなく実施することができ, 自分たちの企画が市民向けの講座になるプロセスを体感することができた。</p> <p>歴史グループ「水戸の先人に学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回目の講座については, 前日夜間の悪天候予報のため参加者の道路状況等を考慮して中止とした。中止とした講座を, 第2回目に2講座実施した。</li> </ul> <p>介護グループ「介護を知っとく講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「介護の認識が変わった」, 「大変ためになった」など高評価であった。</li> <li>・ 両グループとも, 定員を上回る応募があった。</li> </ul>			

<ICT等の新しい技術に関する講座・研修, 新しい技術を活用した講座・研修の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
—	9 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業目的達成度</li> <li>・ 受講者アンケート</li> <li>・ 定員に対する応募人数, 参加人数</li> </ul>	B
<p><b>評価・課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルディバイド解消に向けた「はじめてのスマホ体験講座」は, 全市民センターで開催した。</li> <li>・ みと好文カレッジにおいても, 便利機能とマイナンバーを盛り込んだ, 中級者向け「スマホ体験講座」を開催した。</li> <li>・ 定員程度または定員以上の応募があった。</li> </ul>			

<子育て支援講座の開催 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
205 千円 (報償費, 消耗品費)	273 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業目的達成度</li> <li>・ 受講者アンケート</li> <li>・ 定員に対する応募人数, 参加人数</li> </ul>	B
<p><b>評価・課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父親向けの「パパといっしょに夢らんど」は, 参加者アンケート結果でも「同学年の子どもと時間を共有できたのは良かった。」「大人も一緒に体を動かして良かった。」など, 高評価だった。ただし, 平日開催のパート2は応募人数が少なく中止となってしまったので, 開催日や対象年齢等について検討する。</li> <li>・ 今年度, 新たに実施した「ほっとひといきママたいむ」は, 「継続して実施してほしい」など高評価であった。また, フリートークの時間を設けたことで, 保護者同士の交流の場となり良かった。なお, 応募については, パート1, パート2共に, 定員に対し3.5~4倍の応募があった。</li> </ul>			

<育児ボランティア「えくぼ会」制度の利用促進 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
85 千円 (報償費, 消耗品費)	11 千円	・ 事業目的達成度	B
<b>評価・課題</b> ・ 育児ボランティア活動中、事故や災害があった時のために応急手当の方法、「自動体外式除細動器 (AED)」の使用法について、とっさの時に対応できる救命法を学ぶことができた。 ・ 現在の託児の注意事項等を再確認するとともに、「えくぼ会」の活動での疑問点等を共有するなど会員同士の交流が図れた。			

<水戸市訪問型家庭教育支援事業 事業評価>

予算額	決算見込額	指標	評価
690 千円 (報償費等)	713 千円	・ 2 か年実施計画 令和 5 年度末 訪問件数目標値 40 世帯 ・ 事業目的達成度	A
<b>評価・課題</b> ・ 公立の幼稚園園長会，保育所所長会，民間の幼稚園協会及び保育園長会に出席し事業説明を行い，チラシ配布等を依頼した。 ・ 1 小学校区の小学 1 年生のいる世帯（47 世帯）に対して，全戸訪問を実施した。 ・ 訪問型家庭教育支援員を増加した。今後，全戸訪問を実施するに当たり，教員OBの支援員確保が課題である。			

※事業評価基準

評価	評価基準
A	目標を達成することができた。前年度に比べ，成果が向上した。
B	目標を達成することができた。前年度と比べ，成果は同程度の水準であった。
C	目標の達成に向け取組を進めたが，一部達成できなかった。

## (2) 令和5年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について

### 1 運営方針

生涯学習都市宣言を踏まえ、水戸市生涯学習推進基本計画（第4次）に基づく施策を推進するため、全市的な生涯学習の総称である「みと弘道館大学」の開催を通して、どのような状況下でも学びを止めることなく、少子・高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題を解決するための学習機会を提供するとともに、学習成果を地域活動やまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

また、市民の生涯学習活動の振興を図るため、社会教育活動における基礎的なことからより専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させるとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、時代の新たな課題に対応した学習プログラムの開発を進めるなど、市民センターへの支援・指導を強化する。

### 2 主要施策

#### (1) 市民センターへの支援・指導

##### ア 東湖塾の開催

市民センター職員に、生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や家庭教育の支援の強化など、専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会を開催する。

さらに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、現代的課題解決に向けた学習プログラムを研究・開発し、時代に合った新しい講座を先進的な市民センター講座として提案する。

- (ア) 新任職員研修（集合研修，訪問研修）
- (イ) 全体研修（集合研修，ブロック研修，訪問研修）
- (ウ) 学習プログラム作成研修（ブロック研修，訪問研修）

##### イ 好文塾の開催

東湖塾の学習プログラム作成研修等において研究・開発された現代的課題を取り扱った企画講座が市民センター事業として根付くよう、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として位置づけ、市民センターにおける開催を支援する。

- (ア) 市民センター職員（ブロック単位）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催
- (イ) 市民センター職員（単独）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催

##### ウ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め、「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるよう市民センターの支援を行う。

- (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- (イ) 市民センター事業の現状と課題の調査

## エ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が日常生活の中で学習の成果をどのように生かしているのか、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価を実施していく。

- (ア) 市民センターによる自己評価の実施
- (イ) 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施
- (ウ) みと好文カレッジによる事業評価制度の実施

## (2) 全市的な生涯学習の推進

### ア みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題、いわゆる現代的課題の解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果がまちづくりや人づくりに生かされるよう内容の充実を図る。

また、時代に合った講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による先進的な学習プログラムを市民に提供する。

- (ア) 茨城しぐさ
- (イ) 水戸市生涯学習サポーター協働企画講座

### イ 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方を考え、見つめ直す機会を提供する。

- (ア) 家庭教育講座
- (イ) 家庭教育出前講座

### ウ 生涯学習サポーターチャレンジ講座「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動を通し、市民と行政とのまちづくりを進めるため、市民生活を豊かにする学習プログラムの企画・実施に参画する人材（水戸市生涯学習サポーター）を育成する。

## エ 「水戸市生涯学習サポーター」活動の推進

市民と行政との協働企画講座の企画・実施への参画をはじめ、「さきがけ塾」での学習成果を生かした活動を推進する。

### オ パイロット事業の開発・研究

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、ICT等の新しい技術を活用した講座など、先進的な講座を開発、研究し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体等でも実施できるよう支援する。

### カ パパといっしょに夢らんど、ほっとひといきママたいむの開催

家庭教育支援事業の一環として、未就学児とその保護者を対象に、親子で活動する場や親同士、育児ボランティアとの情報交換の場を提供することによって、育児に対する悩みや不安を解消し、楽しみながら子育てできるよう支援する。

## キ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を広報「みと」やホームページ、情報誌などの各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。

## ク 育児ボランティア制度の活用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加できるよう、講座開催中に別室で子どもを預かる「育児ボランティア制度」の活用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の有効活用を促進する。

## ケ 学習情報の提供の充実

生涯学習活動を推進するため、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や新しい情報のホームページへの掲載など、生涯学習活動を積極的にPRする。

## コ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等からの生涯学習相談に対し、適切で役立つ助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理を行う。

## サ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

## シ 訪問型家庭教育支援事業の拡充

地域人材を活用した家庭教育支援員を派遣し、家庭でのしつけなどに悩みを持つ保護者への個別訪問等の拡充を図る。あわせて、市内1～2小学校区の小学1年生のいる世帯への全戸訪問を実施し、子どもの生活習慣に関する相談等に対応することにより、さらなる家庭教育力の向上を目指す。

### (3) 令和5年度みと好文カレッジ事業実施計画（案）について

#### 1 市民センターへの支援・指導

##### (1) 東湖塾

市民センター職員に生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会等を開催する。

さらに、現代的課題解決のための学習プログラムの研究・開発を行うとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応え、時代にあった新しい講座を発掘し、先進的な市民センター講座として提案する。

研修方法は、一堂に会する「集合研修」と各市民センターへ出向く「訪問研修」を取り入れる。

#### ア 新任職員研修

市民センターに人事異動により新たに着任した者や新規採用者を対象に、市民センター職員として事務事業を遂行するための基本的知識を身につける。

##### (7) 集合研修

- 対象者 令和5年度新任市民センター所長及び新任会計年度任用職員
- 日 時 4月予定
- 会 場 本庁舎（予定）
- 内 容

内 容	説明者
市民センターについて	市民生活課
地域防災について	防災・危機管理課
生涯学習の推進について	みと好文カレッジ
電送窓口関係について	市民課

##### (4) 訪問研修

- 対象者 令和5年度新任市民センター所長及び新任会計年度任用職員
- 日 程 前期（6月頃）、後期（10月～12月頃）各期、対象者を各1回訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について  
②生涯学習の推進について

#### イ 全体研修

市民センター職員として、生涯学習の中の社会教育事業を推進していくための基礎知識の習得や事業の企画立案の進め方等、職員の支援にあたる。

##### (7) 集合研修「第1回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター会計年度任用職員
- 日 時 5月頃（予定）
- 会 場 本庁舎2階大会議室（予定）
- 講 師 茨城県水戸生涯学習センター，市民課，総務法制課，人事課，市民生活課等を予定。
- 内 容 市民生活課と共同で、講座企画の流れ，電送窓口，クレーム対応等について学ぶ研修を実施予定。

(イ) 集合研修「第2回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター職員（所長又は会計年度任用職員）
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 一般社団法人 水戸地区救急普及協会
- 内 容 普通救命講習Ⅰ

(ウ) 集合研修「第3回市民センター職員研修会」

- 対象者 市民センター会計年度任用職員
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 SDGs を取り入れた講座企画について

(エ) 集合研修「市民センター所長研修会」

- 対象者 市民センター所長
- 日 時 未定
- 会 場 未定
- 講 師 未定
- 内 容 未定

(オ) 訪問研修

- 対象者 社会教育事業担当職員
- 日 程 10月～12月頃に、対象者を各1回訪問
- 内 容 ①市民センターの運営について  
②生涯学習の推進について

※計画訪問のほか、市民センターからの要請を受け、随時、実施する。

(カ) ブロック研修「意見交流会」

- 対象者 ①東部ブロックの会計年度任用職員  
②内原ブロックの会計年度任用職員
- 日 時 8月～9月を予定（2時間程度）
- 会 場 ①竹隈市民センター  
②妻里市民センター
- 内 容 市民センターにおける生涯学習事業等を進める上で疑問に感じている事について、同じ業務に携わる会計年度任用職員が一堂に会し意見交換を行うことにより、ブロック内職員の交流を深め事務の効率化を図る一助とする。

## ウ 学習プログラム作成研修

社会教育事業に従事する職員として、高度で多様化した住民のニーズに対応するため、専門的・実践的な知識や技術を身につけ、地域住民に様々な学習の機会を提供する必要がある。

そこで、市民センターの職員を対象に、現代的課題や地域課題の見出し方や課題解決のための学習プログラム作成に関する知識や技術を習得することを目的とする。

- 対象者 北部ブロックの会計年度任用職員。  
なお、研修を希望する個別の市民センターにも対応する。
- 日 程 6月～8月（4回程度実施予定）
- 会 場 国田市民センター
- 内 容 同じブロックの職員が共同で地域課題の整理や学習プログラムのテーマを選定し、ブロック内の地域住民を対象とした講座を企画・実施する。

## (2) 好文塾

東湖塾で研究・開発された現代的課題を取り扱った学習プログラムの作成企画講座が、市民センター事業として根付くよう「好文塾」と名づけ、市民センターとみと好文カレッジとの共同事業として開催する。また、作成した学習プログラムが全ての市民センターにおいて取り組めるようモデル事業として位置づけ、市民センター活動を支援する。

北部ブロック好文塾

- 対象者 北部ブロック内住民

## 2 全市的な生涯学習の推進

### (1) みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題、いわゆる現代的課題解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果を生活の充実や向上に活かされるよう内容の充実を図る。

また、時代にあった講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による学習プログラムを市民に提供する。

### ア 茨城しぐさ

「相互扶助」や「共生」の精神を学び、「お互いが仲良く、気持ちよく生活する」ための方策を考えることにより、規範意識の向上と良好な人間関係を築く一助とすることを目的とする。

- 対象者 小学4年生から中学3年生及びその保護者（学校単位で実施）
- 日 程 令和6年2月末日まで随時
- 講 師 NPO法人 ひと・まちなつとわーく
- 内 容 授業参観、PTA研修会、総合的な学習の時間等、希望があった場に講師の派遣を行い、ロールプレイや講義を通して人付き合いの心構えを学ぶ。

## イ 水戸市生涯学習サポーター活動の推進

人材育成講座「さきがけ塾」の修了生が水戸市生涯学習サポーターに登録し、みと好文カレッジとの協働企画講座や、市民センターとの協働企画講座を市民に提供する。

なお、現在の登録者数は、第1期生から第6期生までで57名。令和5年4月に第七期修了生13名が登録予定。

### ○生涯学習サポーター企画講座

生涯学習サポーターを4～6程度のグループに分け、企画講座を実施予定。時期は9月以降を予定。

### ○市民センターとの協働企画講座

生涯学習サポーターから、市民センターと協働で講座を企画したいグループを1～3程度募り、実施予定。

## (2) 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、子育てに関する講座や学習機会を提供する「子育て応援塾」を開催する。

### ア 家庭教育講座

子育てを控えた親や子育て中の親等が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを吐露できる場を提供するとともに、体験学習をとおして、親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考えることにより、家庭における教育力の向上を目指す。

○対象者 市内在住または在勤で子育てに関心のある16歳以上の方（子育て中の方を優先）

○定員 30名（予定）

○日時 令和5年9月頃を予定

○会場 水戸市総合教育研究所（予定）

○講師 コミュニケーションインストラクター 中島 由佳子

○内容 グループディスカッションやロールプレイング等の体験学習をとおして、親と子がお互いを大切にしながら日々を過ごすための方法を学習する。

### イ 家庭教育出前講座

保護者が家庭教育の重要性を改めて認識し、子どもたちが家族の触れ合いを通じて、「生きる力」を育めるよう、講師が幼稚園等に出向き、家庭教育に関する講座を開催する。

○対象者 私立幼稚園，認定こども園，民間保育園の保護者等

○会場 各私立幼稚園，認定こども園，民間保育園

○講師 未定

○内容 未定

○日程 令和6年2月末頃まで随時予定

### (3) 「さきがけ塾」の開催

生涯学習活動をとおり、市民と行政とのまちづくりに携わる人のために「さきがけ塾」を開催する。塾では市民生活を豊かにする学習プログラムを考え、実施に向けた方法を探り、行政が主催する講座の企画・実施に参画する人材の確保を図る。

#### 第八期「さきがけ塾」

- 対象者 生涯学習や学習プログラムの作成に関心のある市民
- 期 間 令和5年4月～令和6年6月（1年3カ月）
- 回 数 理論編21回（月1～2回、水曜日 午後6時30分～8時30分）、  
実習編4回、実践編4回程度
- テーマ 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり
- 募集人数 15名
- 会 場 見和市民センターほか
- 内 容

#### （理論編）

回	開催予定日	学 習 内 容	講 師
1	4月26日	開講式 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり①	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川幸介
2	5月10日	ファシリテーションを学ぼう	NPO 法人セカンドリーグ茨城 理事長 横須賀 聡子
3	5月24日	ファシリテーターになろう	
4	6月14日	まちづくりとボランティア活動	茨城キリスト教大学兼任講師 池田 幸也
5	6月28日	魁のまち、水戸を目指して	水戸市政策企画課
		美しい街、水戸を目指して	水戸市都市計画課
6	7月12日	SDGsについて学ぼう	水戸市消費生活センター
7	7月26日	水戸の防災を学ぶ	水戸市防災・危機管理課
8	8月2日	受講者側に立って学ぶ 「紫芳の字手紙講習会」	紫芳の字手紙認定講師 寺門 忍
9	8月23日	水戸の歴史を学ぶ	水戸市教育委員会歴史文化財課
10	9月13日	持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり②	茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介
11	9月27日	学習プログラムづくり実践の手法	元学校長 比留間 範之
12	10月11日	学習プログラムづくり①	
13	10月25日	学習プログラムづくり②	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均
14	11月8日	学習プログラムづくり③	
15	11月22日	学習プログラムづくり④	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和
16	12月6日	学習プログラムづくり⑤	
17	12月20日	学習プログラムづくり⑥	
18	令和6年 1月10日	アンケートづくりの実践	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和

19	1月31日	学習プログラムづくり⑦	元学校長 比留間 範之 水戸市生涯学習サポーター 綿引 均
20	2月14日	学習プログラムづくり⑧	水戸市生涯学習サポーター 小平 文和
21	2月28日	ためして合点！プレゼンテーション	元学校長 比留間 範之

【参考】これまでのテーマ（平成22年10月～）

- 第一期 子育て支援コース・地域支援コース
- 第二期 絆な幸齢期コース・暮らしと環境コース
- 第三期 社会の宝（子ども）育成コース・縁がつなぐコミュニティコース
- 第四期 参画と協働のひとづくり・まちづくり
- 第五期 参画と協働のひとづくり・まちづくり
- 第六期 元気な明日を目指す水戸のまちづくり・ひとづくり
- 第七期 持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり

#### (4) 「さきがけ塾」塾生との協働企画講座

市民と行政との協働による学習講座の企画・実施に携わる「水戸市生涯学習サポーター」を目指し、「さきがけ塾」第七期生のテーマ『持続可能な社会に向けたまちづくり・ひとづくり』を学んだ受講生が、学習の成果として作成した講座を市民に提供する。

#### (5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修，新しい技術を活用した講座・研修の開催

シニア向けのスマートフォン講座をデジタルイノベーション課と共催で実施予定。

#### (6) プログラミング講座の開催

みと好文カレッジ単独で，親子で学ぶプログラミング講座を7～8月頃に開催予定。

#### (7) 子育て支援講座の開催

##### ア パパといっしょに夢らんど

家庭教育支援事業の一環として，2，3歳児とその父親を対象に，様々な講座を実施することで，子育て中の親同士が出会い，情報交換の場を作り，楽しみながら子育てできるよう支援する。

- 対象者 水戸市在住または，勤務する父親と2，3歳児の親子
- 日 時
  - パート1 5～7月頃の土曜日（全3回）を予定
  - パート2 9～11月頃（全3回）を予定
- 会 場
  - パート1 鯉淵市民センター
  - パート2 千波市民センター
- 受講者 親子16組（親1名，子1名）
- 参加費 1組300円（材料費として）
- 講 師 未定
- 内 容 親子運動遊び，親子アート遊び，親子ヒップホップをテーマとした内容を予定。

## イ ほっとひといきママたいむ

子育て中の保護者が、子どもと離れる時間を持ち、育児に関するテーマについて学び、他の保護者と意見交換をする機会を設けることにより、リフレッシュするとともに家庭教育について考える一助とする。

- 対象者 水戸市在住の乳幼児（就学前）のお子さんをもつ保護者
- 日 時 パート1 5～6月頃の木曜日（全4回）を予定  
パート2 10～11月頃の木曜日（全4回）を予定
- 会 場 水戸市総合教育研究所（予定）
- 受講者 16名
- 参加費 無料
- 託 児 無料（生後6カ月～未就学児）
- 講 師 未定
- 内 容

（パート1）

仕上げ歯みがき、音楽と心の成長、覚えておきたい子どもの救急対応、トイレトレーニング・指しゃぶりをテーマとした内容を予定。

（パート2）

未定

## (8) 育児ボランティア「えくぼ会」

### ア 前期研修会

育児ボランティア中、事故や災害があった時のために応急手当の具体的な説明、実技「自動体外除細動器（AED）」をとおし、とっさの時に対応できる救命法を学ぶ。

- 対象者 育児ボランティア「えくぼ会」会員
- 日 時 4～5月頃を予定
- 会 場 未定
- 講 師 一般社団法人 水戸地区救急普及協会
- 内 容 普通救命講習Ⅲ ※主に小児、乳児、新生児対象

### イ 後期研修会

会場、内容、日程等については未定。

## (9) 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図る。

### ア NPO法人 ひと・まちなつとわーくの連携事業「茨城しぐさ」

NPO法人 ひと・まちなつとわーくの講師を活用した出前講座を開催する。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進 (1) みと弘道館大学の開催 ア 茨城しぐさ」を参照。

### イ ソフトバンク株式会社及び株式会社NTTドコモとの連携事業

ソフトバンク株式会社及び株式会社NTTドコモの講師を活用し、シニア向けスマートフォン講座を開催する。詳細は「2 全市的な生涯学習の推進 (5) ICT等の新しい技術に関する講座・研修、新しい技術を活用した講座・研修の開催」を参照。

### ウ 明治安田生命保険相互会社との連携事業

市民センターへの支援として、「地元の『公民館』元気プロジェクト」を実施している明治安田生命保険相互会社の講師を活用した講座の開催を市民センターに提案する。

#### (10) 水戸市訪問型家庭教育支援事業

核家族化や少子化等による地域のつながりの希薄化等により、家庭教育を支える環境は大きく変化するとともに、家庭をめぐる問題は複雑化しており、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっている。

本事業においては、家庭でのしつけや子どもへの関わり方等について悩みを抱えているにもかかわらず、様々な事情により相談や保護者向けの学びの場に出てくることが困難な保護者に対して支援を届け、保護者への支援を通じ子どもの育ちを支えていくことを目的にしている。

##### ア 家庭教育支援員による家庭訪問等の実施

保健師やソーシャルワーカー等の家庭教育支援員（現在7名）が、2人一組で個別に対象家庭を訪問し、家庭教育に関する相談に乗り情報提供を行うほか、必要に応じ専門機関へとつなぐ。平成30年度から未就学児のいる家庭を対象に開始したが、令和2年度から小学校1年生までの児童がいる家庭へ対象を広げた。また、令和4年度は、堀原小学校の1年生がいる全世帯（47世帯）を対象に訪問を行った。令和5年度は、赤塚小学校・城東小学校の1年生がいる全世帯（計約50世帯）を対象に訪問を行う（10月～11月予定）。

広報活動については、小学校、幼稚園、保育所等へのチラシ配布やポスター掲示、出生届受理時や3歳児健康診断時のチラシ配布、ホームページやSNSでの情報発信等を継続して行う。また、就学時の健康診断で保護者へ事業案内を実施する。併せて、水戸市立幼稚園園長会、水戸市立保育所所長会議、水戸市民間保育園園長会、水戸市私立幼稚園協会会議で幼児保育・保育施設職員等へ事業について周知し、必要に応じて幼稚園等で保護者が集まる機会に支援員を派遣する。

##### イ 水戸市訪問型家庭教育支援推進協議会の開催

元教員や子育て支援団体関係者等6名の委員からなる協議会を設置し、事業の推進方針や家庭教育支援員の活動支援に関すること等を協議する。年2回開催予定。